

職場に潜む身近な危険

職場には工作中だけでなく、移動中や休憩中にも様々な危険が潜んでいます。災害事例を参考に自身の職場でも似たような危険がないか、振り返ってみましょう。

▶ 災害事例と注意点

1 更衣室

1 出勤時に更衣室で着替え中、足元に現れた虫に驚き、その際に右ひじを後ろに引き、後方の柱に右腕をぶつけた。



柱などでスペースが狭くなっている場所は、体をぶつけやすく大変危険です。やむなく利用する場合は周りを十分に確認し、慎重に行動しましょう。

2 食堂内

2 食堂内を移動中、床をはっていた電源コードにつまづき、前のめりに転倒。右手親指と両ひざを強く打ちつけた。



どのような場所でも、足元の確認を怠ると転倒の原因になることがあります。あわてて足元を見落とさないよう、時間に余裕を持って行動しましょう。

3 出入口

3 移動中、入口のドアを開けた後、ドア本体をつかむようにして閉めたため、ドアとドア枠の間に左手中指を挟んだ。



急ぐことを優先すると、勢いよくドアを閉めて手を挟むことがあります。ドアを利用する際は手元をよく確認し、開閉はゆっくりと行いましょう。

4 階段

4 退勤中、階段を下りていた際に足を踏み外して転倒し、階段で腰をぶつけた。



階段で足を踏み外すと、転倒または転落してケガにつながる可能性があります。手すりを利用して、あわてずに一段ずつ上り下りしましょう。

どのような場所や状況でも、ケガにつながる危険は潜んでいます。工作中でなくても日頃から安全第一を意識することが大切です。